



職人の技量によって品質の差異が発生していましたが、ミリ単位の寸法入力で製造できるので品質が均一になりました。



製造時間 **15%** 以上短縮!

生まれた時間を他部門の作業へ充当

全自動反転式平刺機によって畳1枚にかかる時間が縁付の場合は4分、縁無しの場合は7分短縮。新たに生まれた1日あたり1時間24分を他作業に振り分けることで、工場全体の生産力がアップしました。



新たな機械によって生まれた余力は新たな技術の習得やスキルアップにも活かされています。



ものづくりへの想い

お客さまとじかにやり取りすることが多く、喜びの声を直接聞けるのがこの仕事のいいところです。新しくなった畳をお客さんのお宅に納めたときに「気持ちがいいね」と言ってもらえると本当にうれしいですよ。

今後の展望

住宅様式の洋風化に伴って畳部屋は減少し、畳の需要も全体では減少傾向ですが、今後も自社の強みを生かし、変化に柔軟に対応しながらお客さまの要望に応え続けられる企業に成長発展していきたいですね。



case
09

畳製造業

有限会社 岩田畳店

設立: 1950年

代表取締役: 岩田 浩之

資本金: 500万円

従業員: 2名

事業内容: 畳の製造・表替、襖の製造・張替

〒082-0034

宮崎県延岡市昭和町3丁目1717-6

TEL.0982-35-1198

FAX.0982-35-6519

<https://itp.ne.jp/info/453859091500000899/>



2013 - 2018
Made in
MIYAZAKI

【 有限会社 岩田畳店 】

伝統の技と全自動の新鋭機で 顧客の新たなニーズに応え続ける

短時間で高品質の畳を製造できる全自動反転式平刺機を導入し、ニーズが高まる縁無し畳の生産力を強化。課題だった生産体制にも光明が見えました。



昭

和25年に畳店として創業し、襖や壁紙などの張替えなども手掛ける同社。一日に40〜50枚の畳を製造、表替えできる生産力と、畳以外も扱える強みを生かして売上を伸ばしてきましたが、顧客の希望納期に応えられないケースが増えていました。

「これまで使用してきた機械では手作業が必要な工程もあることから、畳1枚を製造するのに縁付き畳で26分、近年受注が増えている縁無し畳の場合には40分もかかり、繁忙期には納期を延ばしてもらわなければ対応できなくなっていたんです」手作業で行っている工程を自動化できればリードタイムを短縮でき、お客さんを待たせなくて済む。そう判断した同社は全自

生産力にも生産体制にも恩恵

動の機械を導入します。

新

たに導入された全自動反転式平刺機によ

って、製造時間は縁付き畳で15・3%、縁無し畳で17・5%短縮。その分、襖や壁紙など他部門の作業を行うことができるようになり、工場全体の生産効率が改善されたのです。

「この機械の恩恵は生産性の向上だけではなくありません。タッチパネルに数値を入力するだけなので経験の浅い作業員でも熟練の職人と変わらない品質の畳を作れるんです。技術者の育成も急務だったのでこの点も非常に助かりました。今後も70年培ってきた伝統を大切にしながら、新たな取り組みや設備投資にチャレンジしてニーズに対応していくつもりです。」